

川の国埼玉 はつらつプロジェクト 提案書

主題（テーマ）

～ 健康を彩る水辺と田園の回廊 ～

提案箇所

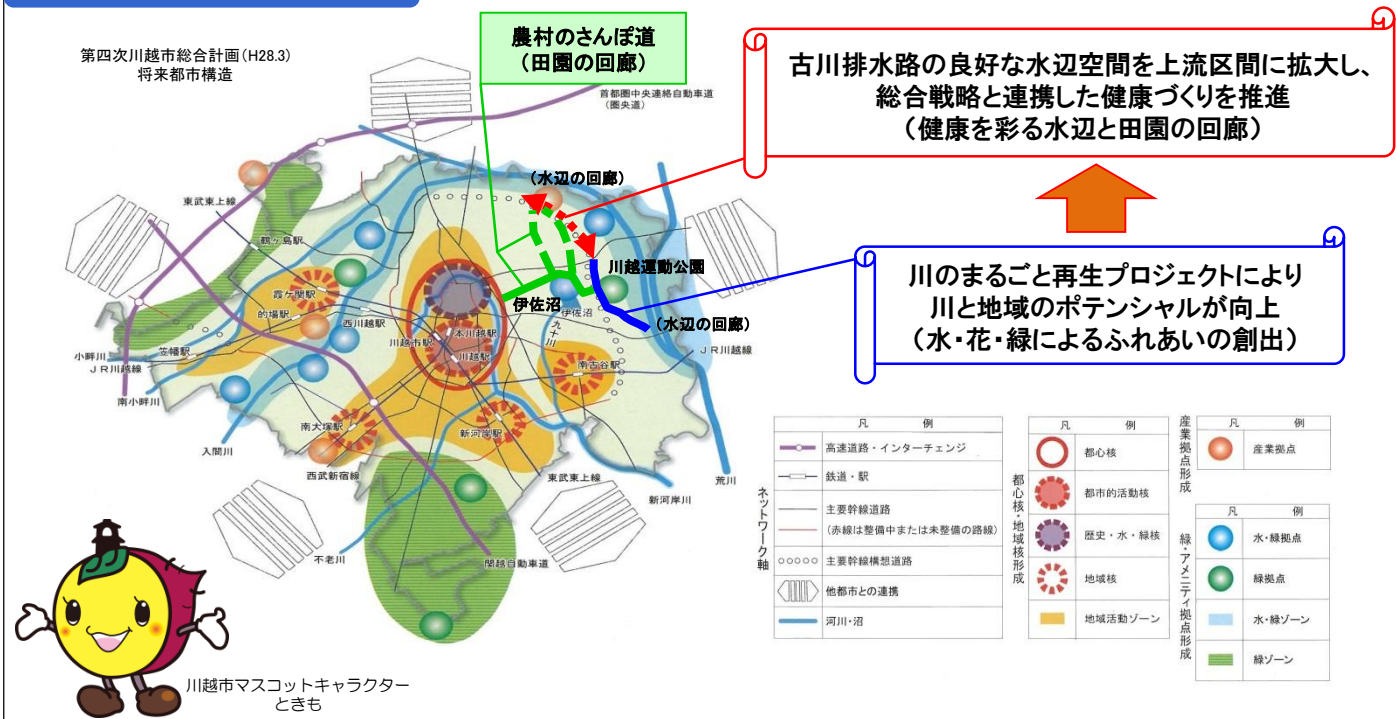
古川排水路／川越市芳野地区

川越市

本市では、「川越市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略(H28.1)」のプロジェクトの一つである「蔵 in ガルテン 川越」において、伊佐沼北側に位置する農業ふれあいセンターを中心に、水辺や田園など、周辺の自然的景観や農業とのふれあいをコンセプトとした、グリーンツーリズムを推進することとしています。

本提案では、ぐるっと埼玉サイクルネットワークを活用した「農村のさんぽ道(サイクリング利用)」を広域化し、「川のまるごと再生プロジェクト」により再生した古川排水路の良好な水辺空間を上流へ拡大するとともに、川越運動公園を中心とした水辺沿いのジョギングコース等の整備により、健康づくりに資する財産として、活用及び保全を図ります。

取組のイメージ図



計画等の位置付け

■川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略プロジェクトの一つである「蔵 in ガルテン川越」において、豊かな自然を活かした観光・交流スポットとして、農業ふれあいセンターを中心としたグリーンツーリズムの拠点整備を位置づけています。

■川越市都市計画マスタープラン

芳野地区の水と緑のまちづくり方針において、入間川や古川排水路等の水辺環境の総合的整備をかけた、水と緑に囲まれた広大な田園が広がる、川越のふるさととして、のどかであるおいのあるまちづくりを行うこととしています。

目標・成果指標

■健康を彩る水辺づくり

・川越運動公園を中心とし、古川排水路沿いにジョギングコース等の整備を行い、「農村のさんぽ道」のサイクルネットワークと併せて市街地(まち)と水辺を相互につなぎ、地域や来訪者が健康を通じて交流できる水辺環境を創出します。

■憩いの水辺を彩る人づくり

・積極的に水辺の美化活動を推進するため、川の国広援団に登録し、地域住民による憩いの水辺を創出します。

成果指標	現在	整備後
ジョギング利用者数	H28調査中	H28調査の5倍(H33)
サイクリング利用者数	2,500人(H27)	4,500人(H33)
川の国広援団申込者数(古川排水路)	—	1,000人(H33)

位置図



① 入間川堤防桜づつみ



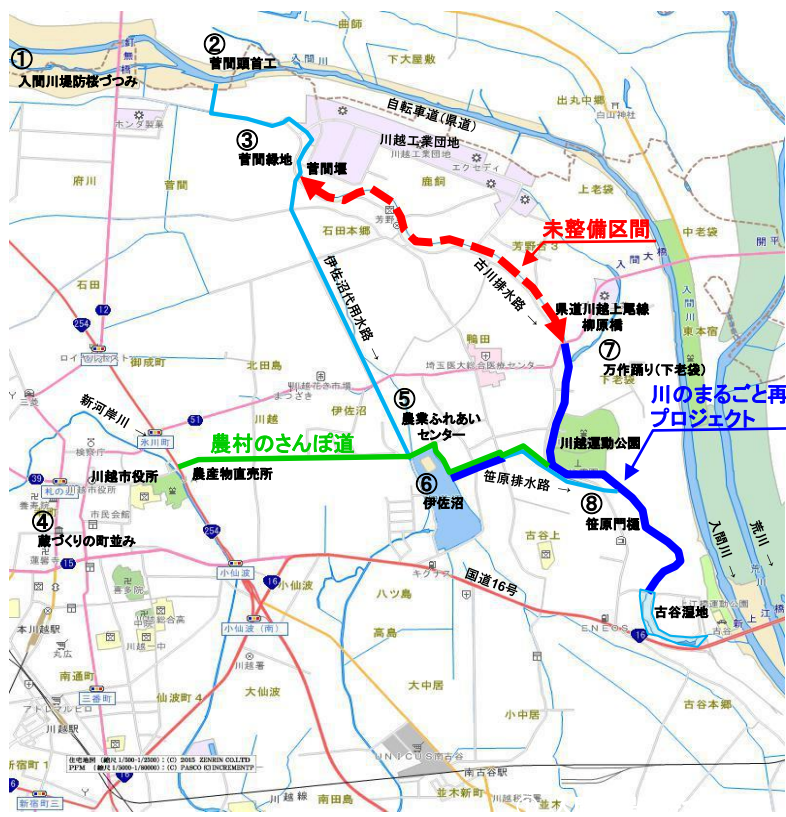
② 菅間頭首工



③ 菅間緑地



④ 蔵づくりの町並み



⑤ 農業ふれあいセンター



⑥ 伊佐沼



⑦ 万作踊り(文化財)



⑧ 笹原門樋(文化財)

川の状況

- 古川排水路は延長5.2km
(うち改修済み延長2.4km)
- 活動団体 1団体
(荒川右岸用排水路土地改良区)
- 川の特徴
 - ・日常は、農業用の排水路としての重要な機能を有しています。
 - ・入間川合流部に農地防災機能を有する排水機場を備えています。
 - ・沿川には、川越運動公園、川越工業団地、釣りスポットが位置し、市内外からの来訪者に親しまれています。
- 過去の事業
 - ・川のまるごと再生プロジェクト
環境護岸の整備:延長2.3km
(笹原排水路を含む)

まちの状況

- 地域資源
 - ・人口35万人を有する本市は、江戸時代に城下町として栄えた歴史を持つとともに、都心に近い立地でありながら、豊かな自然環境にも恵まれた都市です。
 - ・第四次川越市総合計画(H28.3)において、将来都市像を「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」と定めています。
 - ・本市の北東部に位置する芳野地区は、ほぼ全域の農業基盤が整備され、入間川に流れる古川排水路等とともに豊かな農業地域となっています。
- 課題
 - ・自転車道(県道)沿いに整備した入間川堤防桜づつみや菅間緑地、そして新たな水辺拠点となる古谷湿地、伊佐沼に代表される水辺とのつながりを連携する必要があります。
 - ・再生された古川排水路、川越運動公園、川越工業団地等の拠点と「農村さんぽ道」とのつながりが限定的となっているため、ネットワーク化により、地域資源と水辺が調和した整備を推進する必要があります。

位置図

広域案内板(イメージ)

ジョギングコース(イメージ)

いきもの観察(イメージ)



事業等の概要

ハード

- 遊歩道を兼ねたジョギングコース等の整備
 - ・ ジョギングコースの整備 (下流区間含む)
 - ・ 地点表示板の整備
 - ・ いきもの観察スポットの整備
 - ・ ひとやすみスポットの整備
 - ・ グリーンツーリズム駐輪スポットの整備
- 農村さんぽ道案内板の整備
 - ・ 用排水路の歴史等を盛り込んだ広域案内板等の整備

ソフト

- 健康を彩るプログラム
 - ・ 川の歴史等を学ぶ見学会
 - ・ いきもの観察会
- グリーンツーリズムを彩るプログラム
 - ・ 水辺の魅力体感ウォーキング
- 情報発信
 - ・ 農村さんぽ道マップの提供(配布)
 - ・ ホームページ等による取組の周知

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	想定事業費
計画策定		●—●					
ジョギングコース等の整備			●—●	●—●	●—●	●—●	50百万円
スポットの整備				●—●	●—●	●—●	10百万円
広域案内板等の整備					●—●	●—●	10百万円

位置図

現状(芳野中学校付近)

整備後(イメージ)

整備後(イメージ)



実施してほしい整備概要

■古川排水路上流区間の整備 (延長 約2.8km)

- ・景観や自然環境に配慮した護岸及び歩行空間(遊歩道)の整備

■実施してほしい理由

・古川排水路上流区間には、地元の小・中学校や川越工業団地など、水辺沿いに多くの方が活動する地域資源があります。古川排水路を整備し、憩いの水辺を提供することにより、散歩やジョギング等の健康づくりを行う人々を誘導することができます。また、農村のさんぽ道を広域化することにより、市街地(まち)からサイクリングで古川排水路に訪れることが可能となり、より多くの人に水辺に親しむ機会を提供できます。このため、古川排水路において、景観や自然環境に配慮した護岸及び遊歩道として利用可能な歩行空間の確保の整備を要望するものです。

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
環境護岸及び歩行空間(遊歩道)の整備		●—————●				500百万円